

# 2010 APEC 女性リーダースネットワーク(WLN)会合サイドイベント シンポジウム「自分らしく生きるための力<sup>キャリア</sup> -女性の経済活動への参画と自立-」を開催しました

2010年9月18日(土)、本学の国際会議場井深大記念ホールにおきまして、日本で初めて開催されたAPEC女性リーダースネットワーク(WLN)会合のサイドイベントとして、表記シンポジウムを内閣府、男女共同参画推進連携会議、新宿区とともに開催いたしました。

午前の部は、岡島敦子内閣府男女共同参画局長、中山弘子新宿区長、白井克彦本学総長の主催者挨拶に始まり、内永ゆか子2010APECWLN実行委員会委員長による「自分らしく生きるための力(キャリア)-女性の経済活動への参画と自立-」副題「仕事からの贈り物」と題した基調講演を行いました。内永氏は、キャリアアップは人生における自己実現、夢の実現だと、企業でのご経験をもとに語られました。職場・会社・市場・社会を変えられるキャリアアップの実現に向けて、キャリアに対する目標の明確化、与えられたチャンスには挑戦、個人としての価値/強みをもつ、社内外の人のネットワークの重視しよう、といった応援メッセージをいただきました。また、先輩や会社からももらったものを後輩にギブバックすることも大切、というお話で締め括られました。

続くパネルディスカッションでは、「未来を拓く私たち女性」をテーマに、村田晶子(本学文学学術院教授・男女共同参画推進委員会副委員長)をモデレーターとして、熊谷真弓氏(更生施設「けやき荘」所長)、島田京子氏(日本女子大学非常勤講師/元日本女子大学事務局長/元日産自動車グローバル広報・IR本部コミュニティ・リレーション担当部長)、坪田秀子氏(お茶の水女子大学学長特命補佐/前日本ロレアル取締役副社長)、中山弘子氏(新宿区長)、奈良順子氏(有限会社スカイビジネス代表)以上5人のパネリストの豊富なご経験を基に、経済活動への女性の参画、自分らしい生き方・自立のための「力(キャリア)」について様々なご提言いただきました。人と人との繋がりが大切だ、ダイバーシティ(多様な価値観)を束ねていくのは、コミュニケーション力であり、他者への共感、反対意見が自分を育てるので異質から学ぶという柔軟性、支え合いの力が必要、といった共感を育てる大切さが語り合われ、「前例を崩す。前例は自分で作る。前例を作るにはリーダーになろう。」というエールが参加者全員に送られました。

午後の部は、「生きにくさをかかえた女性たちの支援」、「企業の中で進むダイバーシティー-これからの働き方の展望-」、「脱キャリア構築-『行き当たりバッチリ』で切り拓く-」、「アジアと日本をつなぐ女性の力」以上4つのグループセッションを開催し、コーディネーター・学生スタッフも加わって、参加者も自らの経験や自分らしく生きるための思いをシェアしあいました。

なお、このイベントの詳細につきましては、近日中に発行する「報告書」の中でお伝えさせていただきます。

